



ユーザ レポート

- ユーザ レポートの概要 (1 ページ)
- 課金ユーザ レポート (5 ページ)
- 上位 N 件ユーザ レポート (10 ページ)
- アシスタントユーザ レポート (18 ページ)
- IP Phone サービスのユーザ レポート (21 ページ)
- ユーザ レポート出力結果の確認 (22 ページ)

ユーザ レポートの概要

CAR では、次の 3 レベルのユーザ向けにレポート機能が用意されています。

- 管理者 - システム レポートを生成する次の操作を行います。
 - ロード バランシング
 - システムのパフォーマンス
 - トラブルシューティング
- マネージャ：予算編成やセキュリティの目的でのコールモニタリングや、コールの音声品質を判断する場合に役立つユーザ、部門、および QoS に関するレポートを生成します。
- 個々のユーザ：コールの課金レポートを生成します。



(注) 職務機能に応じて、一部のレポートを表示するのにアクセス制限がある場合があります。

ユーザ レポートの説明

ユーザ、マネージャ、および CAR 管理者は、ユーザ レポートを生成できます。CAR には、次のユーザ レポートが含まれています。

・課金

- ・個人：ユーザ、マネージャ、および CAR 管理者が使用できます。個人課金では、指定する日付範囲のコール情報が示されます。ユーザは、自身の通話の課金についての要約情報または詳細情報を生成、参照、またはメールで送信することができます。アプリケーションユーザも兼ねている CAR 管理者は、このレポートを取得できません。
- ・部門：マネージャおよび CAR 管理者が使用できます。部門用課金では、コール情報および Quality of Service (QoS) レーティングが示されます。マネージャの場合、部下であるすべてのユーザが行ったコール、またはマネージャが選択したユーザのみの、コールの要約レポートまたは詳細レポートを生成できます。CAR 管理者の場合、システム内の一部またはすべてのユーザが行ったコールの要約レポートまたは詳細レポートを生成できます。このレポートは、システム全体でユーザレベルでのすべてのコールを追跡する場合に参考にできます。

・上位 N 件

- ・料金別：マネージャおよび CAR 管理者が使用できます。料金別上位 N 件レポートには、指定した期間中のコールのうち、発生した課金が最大の上位ユーザのリストが表示されます。接続先別に生成されるレポートには、発生した課金が最大の接続先のリストが表示されます。すべてのコールについて生成されるレポートには、発生した課金が最大のコールのリストが表示されます。マネージャの場合、指定した期間中に部下のユーザによって行われたすべてのコールのうち、料金が上位の情報がレポートに含まれます。CAR 管理者の場合、指定した期間中にシステム上のすべてのユーザによって行われたすべてのコールのうち、料金が上位の情報がレポートに含まれます。
- ・接続時間別：マネージャおよび CAR 管理者が使用できます。接続時間別上位 N 件レポートには、指定した期間中のコールのうち、発生したコールの接続時間が最大の上位ユーザのリストが表示されます。接続先別に生成されるレポートには、発生した接続時間が最大の接続先のリストが表示されます。すべてのコールについて生成されるレポートには、発生した接続時間が最大のコールのリストが表示されます。マネージャの場合、指定した日付範囲中に部下のユーザによって行われたすべてのコールのうち、接続時間が最も長いユーザから、上位のユーザのリストがレポートに表示されます。CAR 管理者の場合、指定した日付範囲中に行われたすべてのコールのうち、接続時間が最も長いユーザから、上位のユーザのリストがレポートに表示されます。
- ・コール数別：マネージャおよび CAR 管理者が使用できます。コール数別上位 N 件レポートには、発生したコール数が最大のユーザのリストが表示されます。内線番号ごとに生成されるレポートには、指定した期間中のコールのうち、発信または受信したコール数が最大の内線番号のリストが表示されます。マネージャの場合、指定した日付範囲中に部下のユーザのうち、ユーザまたは内線番号別のコール数が上位のリストがレポートに表示されます。CAR 管理者の場合、システム上の各ユーザまたは各内線番号のコール数のうち、コール数が上位のリストがレポートに表示されます。個人ユーザが生成するレポートには、発生したコール数が最大のユーザのリストが表示されます。内線番号別に生成されるレポートには、グループ（マネージャの場合）またはシステム（CAR 管理者の場合）で、発信または受信したコール数が最大の内線番号のリストが表示されます。

- Cisco Unified Communications Manager Assistant
 - マネージャ コールの使用状況：CAR 管理者が使用できます。Cisco Unified Communications Manager Assistant (IPMA) の要約レポートまたは詳細レポートには、IPMA マネージャの完了コール使用状況の詳細が示されます。マネージャ レポートには、マネージャが自身のために処理するコールのみ、アシスタントがマネージャのために処理するコールのみ、またはマネージャとアシスタントの両方がマネージャのために処理するコールを含めることができます。
 - アシスタント コールの使用状況：CAR 管理者が使用できます。Cisco IPMA の要約レポートおよび詳細レポートには、IPMA アシスタントの完了コールの使用状況が示されます。アシスタント レポートには、アシスタントが自身のために処理するコールのみ、アシスタントがマネージャのために処理するコールのみ、アシスタントが自身およびマネージャのために処理するコールを含めることができます。
- Cisco IP Phone サービス：CAR 管理者が使用できます。Cisco IP Phone サービス レポートには、選択した Cisco IP Phone サービス、選択した各サービスに加入しているユーザの数、および、選択した各サービスの使用率が表示されます。広範囲なビジネス目的および娯楽目的での使用に対して、サービスを作成できます。広告など、サービスに関連する収益がある場合、このレポートを使用して、サービスに登録しているユーザの数を特定できます。また、このレポートを使用して、選択したサービスの人気度を表示することもできます。

メール レポート

CAR では、すべてのレポートを電子メールで送信できます。CAR では、すべてのレポートウィンドウから電子メールでレポートを送信できます。最初にレポートを参照してから送信することもできます。

始める前に

レポートを電子メールで送信するには、まず、有効なメールパラメータを設定します。メールパラメータを使用すると、CAR では、システムにある電子メール サーバを使用して電子メールを送信できます。詳細については、[メール サーバ パラメータの設定](#)を参照してください。また、生成するレポートの詳細も設定します。

次の手順では、CAR レポートを電子メールで送信する方法について説明します。

手順

-
- ステップ 1** 任意の [CAR レポート (CAR Reports)] ウィンドウ内で、またはレポートの参照後に、[レポートの送信 (Send Report)] ボタンをクリックします。
[メールの送信先 (Mail To)] ウィンドウが表示されます。
 - ステップ 2** レポートの送信先のユーザの電子メール ID を入力します。

- ステップ3** [宛先 (To)]をクリックすると、ユーザを検索できます。
[ユーザ検索 (User Search)]ウィンドウが表示されます。
- ステップ4** [名 (First Name)]フィールドおよび[姓 (Last Name)]フィールドに、ユーザの名または姓の文字を入力し、[検索 (Search)]をクリックします。
同じページに[ユーザ検索結果 (User Search Results)]ウィンドウが表示され、入力した検索基準に一致するすべてのユーザのリストが表示されます。
- ステップ5** レポートの送信先のユーザの行で、[選択 (Select)]リンクをクリックします。
選択したユーザが、[メールの送信先 (Mail To)]ウィンドウの[宛先 (To)]フィールドに追加されます。この手順を繰り返して、このレポートのコピーを電子メールで送信するユーザのリストにユーザを追加します。
- ステップ6** すべてのユーザを追加したら、[ユーザ検索 (User Search)]ウィンドウで[閉じる (Close)]をクリックします。
[ユーザの検索 (Search Users)]ウィンドウに表示されているユーザが、[メールの送信先 (Mail To)]ウィンドウの[宛先 (To)]フィールドにコピーされます。
- ステップ7** [Cc]フィールドにユーザを追加する場合は、[Cc]をクリックし、[ステップ4 \(4 ページ\)](#) から [ステップ6 \(4 ページ\)](#) で説明されている手順と同じ手順に従います。
- ステップ8** [件名 (Subject)]フィールドに、メッセージの件名を入力します (任意)。
- ステップ9** [メッセージ (Message)]領域に、メッセージを入力します (任意)。
- ステップ10** [送信 (Send)]をクリックします。
-

CSV レポートの表示

CSV レポートのデータは、見やすい状態で適切に表示されていない場合があります。データを整然と表記して正しい形式でレポートを参照するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ1** Web ブラウザで CSV レポートを開きます。
- ステップ2** レポート上の任意の場所を右クリックし、[ソースの表示 (View Source)]を選択します。
レポートがテキストファイルとして開きます。
- ステップ3** CSV ファイル拡張子付きでテキストファイルを保存します。
- ステップ4** CSV ファイルを開きます。
データが正しい形式で表示されます。
-

ユーザの検索

CARの多くのレポートには検索機能があるため、ユーザを検索できます。次のCARユーザレポートは、ユーザでの検索をサポートしています。部門課金と個人課金、料金別上位N件、接続時間別上位N件、コール数別上位N件、Cisco Unified Communications Manager Assistant、およびCisco Unified IP Phone。[レポートの送信 (Send Report)]を使用すると、生成可能なすべてのレポートを電子メールで送信できます。

始める前に

ユーザを検索するには、[ユーザレポート (User Reports)]にあるウィンドウを使用する必要があります。

この項では、ユーザを検索する方法について説明します。

手順

ステップ 1 [ユーザの検索 (Search Users)] リンクをクリックします。

[ユーザ検索 (User Search)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 [名 (First Name)] フィールドおよび[姓 (Last Name)] フィールドに、ユーザの名または姓の文字を入力し、[検索 (Search)] をクリックします。

同じウィンドウに[ユーザ検索結果 (User Search Results)] ウィンドウが表示され、入力した検索基準に一致するすべてのユーザのリストが表示されます。

ステップ 3 必要なユーザの行で、[選択 (Select)] リンクをクリックします。

選択したユーザが、[ユーザ検索 (User Search)] ウィンドウの[ユーザのリスト (List of Users)] に追加されます。この手順を繰り返して、ユーザを追加します。

ステップ 4 すべてのユーザを追加したら、[ユーザ検索 (User Search)] ウィンドウで[閉じる (Close)] をクリックします。

課金ユーザレポート

CARでは、次の3レベルのユーザ向けにレポート機能が用意されています。

- 管理者：ロード バランシング、システム パフォーマンス、トラブルシューティングの参考にできるシステム レポートを生成します。
- マネージャ：予算編成またはセキュリティを目的とする場合や、コールの音声品質を判断する場合のコール モニタリングに役立つユーザ、部門、および QoS に関するレポートを生成します。
- 個々のユーザ：コールの課金レポートを生成します。



(注) 職務機能に応じて、一部のレポートを表示するのにアクセス制限がある場合があります。

課金レポート

個人課金では、指定する日付範囲の通話情報が示されます。システムにより自動生成されたレポートを表示することも、新しいレポートを生成することもできます。レポートの自動生成をスケジュールリングできるのは、CAR管理者だけです。管理者の場合は、CARレポートとアラートの自動生成を参照してください。

部門課金では、コール情報およびQoSレーティングが示されます。マネージャの場合、部下であるすべてのユーザが行ったコール、またはマネージャが選択したユーザのみの、コールの要約レポートまたは詳細レポートを生成できます。

CAR管理者の場合、システム内の一部またはすべてのユーザが行ったコールの要約レポートまたは詳細レポートを生成できます。このレポートは、システム全体でユーザレベルでのすべてのコールを追跡するのに役立ちます。

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	個人課金レポートの生成	ユーザ、マネージャ、および管理者に関する要約情報レポートや詳細情報レポートを、参照する方法や電子メールで送信する方法について説明します。 (注) 管理者ユーザは、このレポートにはアクセスできません。
ステップ 2	部門課金レポートの生成	部門課金に関する要約情報または詳細情報を生成する方法、参照する方法、または電子メールで送信する方法について説明します。 (注) アプリケーションユーザは、このレポートにはアクセスできません。

個人課金レポートの生成

個人用課金レポートを設定する前に、レポートに含まれるユーザごとに、オーナーユーザ ID が割り当てられたデバイスが Cisco Unified CM の管理に存在することを確認してください。次の手順を使用して、オーナーユーザ ID を作成します。

手順

- ステップ 1** Cisco Unified CM の管理で、[デバイス (Device)] > [新規電話を追加 (Add a New Phone)] > [電話 (Phone)] > [電話の設定 (Phone Configuration)] を選択します。
- ステップ 2** デバイスとユーザの情報を追加します。
- (注) デバイスでエクステンションモビリティ機能が有効になっており、ユーザが電話にログインしてコールを発信する場合、CDR に記録されるユーザ ID は、ログインしているユーザ ID と一致します。エクステンションモビリティ機能がデバイスでイネーブルになっていない場合、CDR で記録されるユーザ ID は、デバイスに設定されている「「オーナーユーザ ID」」に相当します。
- ユーザ ID もオーナーのユーザ ID も設定されていない状況 (つまり、エクステンションモビリティ機能が有効ではなく、オーナーのユーザ ID が設定されていない場合) では、CDR の [ユーザ ID (User ID)] フィールドは空白として記録されます。
- CAR は、CDR をロードするときにデフォルトのユーザ ID 「_unspecified user」を使用しますが、「_unspecifieduser」という名前のユーザーが Cisco Unified CM データベースに存在しないため、CDR は個人課金ユーザレポートに表示されません。
- ディレクトリで特定のエンドユーザのレポートを検索する場合、そのエンドユーザのユーザ ID がデバイスのオーナーユーザ ID として設定されているか、またはそのエンドユーザが、エクステンションモビリティ機能がイネーブルなデバイスにログインしている必要があります。
- これで、個人課金レポートを設定する準備が整いました。
- ステップ 3** 次のいずれかの作業を実行します。
- ユーザまたはマネージャの場合は、[課金 (Bills)] > [個人 (Individual)] を選択します。
 - CAR 管理者の場合は、[ユーザレポート (User Reports)] > [課金 (Bills)] > [個人 (Individual)] を選択します。
- ステップ 4** [レポートタイプ (Report Type)] フィールドで、[要約 (Summary)] または [詳細 (Detail)] を選択します。
- 要約レポートには、選択した期間のすべてのコールの要約が示され、含まれる項目は、コールの分類 ([内部 (Internal)]、[ローカル (Local)]、[長距離 (Long Distance)]、[国際 (International)]、または [オンネット (On Net)])、QoS 情報、発信された合計コール数、および発生した料金などです。
- 詳細レポートに含まれるのは、選択した期間のすべてのコールについて、CAR での評価エンジン設定に基づいた、コールの日付、コールの発信時刻、発信元番号 (発信番号)、接続先番号 (着信番号)、コールの分類 ([オンネット (On Net)]、[内部 (Internal)]、[ローカル (Local)]、[長距離 (Long Distance)]、[国際 (International)]、または [その他 (Others)])、QoS 情報、コールの持続時間 (秒単位)、およびコールの料金です。
- ステップ 5** [使用可能なレポート (Available Reports)] フィールドで、自動生成レポート (選択可能な場合) を選択して、**ステップ 8 (8 ページ)** に移動するか、または、デフォルトの [新規レポー

トの作成 (Generate New Report)] を使用し、[ステップ 8 \(8 ページ\)](#) [ステップ 6 \(8 ページ\)](#) に移動します。

(注) 自動生成レポートは、CAR 管理者としてログインしている場合のみ選択できます。マネージャまたは個人ユーザとしてログインしている場合、自動生成レポートは、ドロップダウンリストボックスに表示されません。

ステップ 6 コール情報を確認する期間の日付範囲を選択します。

ステップ 7 レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

ステップ 8 [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。

ステップ 9 [レポートの送信] をクリックします。レポートをメールで送信するには、[メールレポート \(3 ページ\)](#) に記載されている手順に従います。

部門課金レポートの生成

部門課金レポートを設定する前に、レポートに含まれるユーザごとに、オーナー ユーザ ID とマネージャ ユーザ ID が割り当てられたデバイスが Cisco Unified CM の管理に存在することを確認する必要があります。次の手順を使用して、ユーザごとに、デバイス、オーナー ユーザ ID、関連付けられるマネージャ ユーザ ID を追加します。

手順

ステップ 1 Cisco Unified CM の管理で、[デバイス (Device)] > [電話 (Phone)] > [新規電話を追加 (Add a New Phone)] > [電話の設定 (Phone Configuration)] を選択します。

ステップ 2 デバイスとユーザの情報を追加します。

ステップ 3 Cisco Unified CM の管理で、[ユーザ管理 (User Management)] > [エンドユーザ (End User)] > [追加 (Add)] を選択します。

ステップ 4 エンドユーザ情報に、マネージャ ユーザ ID 情報を追加します。

(注) エクステンションモビリティ機能がデバイスでイネーブルになっていて、ユーザが電話にログインし、コールを発信する場合、CDR で記録されるユーザ ID が、ログインしているユーザ ID に一致する必要があります。エクステンションモビリティ機能がデバイスでイネーブルになっていない場合、CDR で記録されるユーザ ID は、デバイスに設定されている「**オーナー ユーザ ID**」です。

ユーザ ID もオーナーのユーザ ID も設定されていない状況（つまり、エクステンションモビリティ機能が有効ではなく、オーナーのユーザ ID が設定されていない場合）では、CDR の [ユーザ ID (User ID)] フィールドは空白として記録されます。この状況では、CAR は CDR をロードするときに、デフォルトのユーザ ID である「**_unspecified user**」が使用され、「**_unspecifieduser**」という名前のユーザは Cisco Unified CM データベースには存在しないため、CDR は部門課金ユーザ レポートには表示されません。

ディレクトリで特定のエンドユーザのレポートを検索する場合、そのエンドユーザのユーザ ID がデバイスのオーナー ユーザ ID として設定されているか、またはそのエンドユーザが、エクステンションモビリティ機能がイネーブルなデバイスにログインしている必要があります。

ステップ 5 次のいずれかの作業を実行します。

- a) マネージャの場合は、[課金 (Bills)] > [部署名 (Department)] を選択します。
- b) CAR 管理者の場合は、[ユーザ レポート (User Reports)] > [課金 (Bills)] > [部署名 (Department)] を選択します。

ステップ 6 [レポート タイプ (Report Type)] フィールドで、[要約 (Summary)] または [詳細 (Detail)] を選択します。

要約レポートには、選択した期間のすべてのコールの要約が表示され、含まれる項目は、コールの分類 ([オンネット (OnNet)], [内部 (Internal)], [ローカル (Local)], [長距離 (Long Distance)], [国際 (International)], [着信 (Incoming)], [タンデム (Tandem)], または [その他 (Others)])、QoS 情報、発信された合計コール数、および発生した料金などがあります。

詳細レポートには、選択した期間のすべてのコールにおける CAR の評価エンジン設定に基づく情報が表示され、含まれる項目は、コールの日付、コールの発信時刻、発信元番号 (発信番号)、接続先番号 (着信番号)、コールの分類 ([オンネット (OnNet)], [内部 (Internal)], [ローカル (Local)], [長距離 (Long Distance)], [国際 (International)], または [その他 (Others)])、QoS 情報、コールの接続時間 (秒単位)、およびコールの料金です。

ステップ 7 [使用可能なレポート (Available Reports)] フィールドで、自動生成レポート (選択可能な場合) を選択し、[ステップ 17 \(10 ページ\)](#) に進むか、または、デフォルトの [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を使用し、[ステップ 8 \(9 ページ\)](#) に進みます。

(注) 自動生成レポートは、CAR 管理者としてログインしている場合のみ選択できます。マネージャとしてログインしている場合、自動生成レポートは、ドロップダウン リストボックスに表示されません。

ステップ 8 コール情報を確認する期間の日付範囲を選択します。

- ステップ 9** マネージャの場合は、[ステップ 10 \(10 ページ\)](#) に進みます。CAR 管理者の場合は、[ステップ 14 \(10 ページ\)](#) に進みます。
- ステップ 10** すべての番号レポートを選択する場合は、[すべてのレポート対象者を選択 (Select All Reportees)] チェックボックスをオンに設定します。
- [レポート対象者のリスト (List of Reportees)] に、番号レポートが表示されます。
- (注) [下へ (Down)] をクリックし、番号レポートを確認します。レポートチェーン情報の上下に移動する場合は、[上へ (Up)] および [下へ (Down)] を使用します。
- ステップ 11** 個別のレポート対象者を選択する場合は、[レポート対象者のリスト (List of Reportees)] に表示されているレポートを選択します。
- ステップ 12** [追加 (Add)] をクリックします。
- 部門課金には、[選択されたレポート対象者 (Selected Reportees)] ボックスにリストが表示されているユーザだけが含まれます。
- ステップ 13** 特定のユーザの下のレポート対象者を参照する場合は、ユーザを選択し、[下へ (Down)] をクリックします。
- ステップ 14** CAR 管理者の場合は、[すべてのユーザを選択 (Select All Users)] チェックボックスをオンにして、すべてのユーザを含めます。マネージャの場合は、[ステップ 16 \(10 ページ\)](#) に進みます。
- ステップ 15** 個々のユーザを指定する場合は、レポートに含めるユーザのユーザ ID を [ユーザ ID (User ID)] フィールドに入力します。[追加 (Add)] をクリックします。
- 用意されているユーザ検索機能を使用することもできます。検索機能の使用方法については、[ユーザの検索 \(5 ページ\)](#) を参照してください。
- ステップ 16** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 17** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。
- ステップ 18** [レポートの送信] をクリックします。レポートをメールで送信するには、[メールレポート \(3 ページ\)](#) に記載されている手順を実行します。

上位 N 件ユーザーレポート

CAR では、次の 3 レベルのユーザ向けにレポート機能が用意されています。

- 管理者：ロード バランシング、システム パフォーマンス、トラブルシューティングの参考にできるシステム レポートを生成します。
- マネージャ：予算編成またはセキュリティを目的とする場合や、コールの音声品質を判断する場合のコール モニタリングに役立つユーザ、部門、および QoS に関するレポートを生成します。

- 個々のユーザ：コールの課金レポートを生成します。



(注) 職務機能に応じて、一部のレポートを表示するのにアクセス制限がある場合があります。

上位 N 件レポート

上位 N 件の料金レポートには、指定した日付範囲での料金が最大のユーザがレポートされます。マネージャの場合、指定した期間中に部下のユーザによって行われたすべてのコールのうち、料金が上位の情報がレポートに含まれます。CAR 管理者の場合、指定した期間中にシステム上のすべてのユーザによって行われたすべてのコールのうち、料金が上位の情報がレポートに含まれます。各上位 N 件の料金レポートは、個別ユーザ、接続先、またはすべてのコールごとの情報を示すオプション付きで生成できます。

上位 N 件の接続時間レポートには、指定した期間中のコールのうち、コールの接続時間が最大の上位ユーザのリストが表示されます。マネージャの場合、指定した日付範囲中に部下のユーザによって行われたすべてのコールのうち、接続時間が最も長いユーザから、上位のユーザのリストがレポートに表示されます。CAR 管理者の場合、指定した日付範囲中に行われたすべてのコールのうち、接続時間が最も長いユーザから、上位のユーザのリストがレポートに表示されます。各上位 N 件の接続時間レポートは、個別ユーザ、接続先、またはすべてのコールごとの情報を示すオプション付きで生成できます。

上位 N 件のコール数レポートには、指定した期間中に、ユーザによって発信または受信されたコール数のうち、上位のコール数のリストが表示されます。マネージャの場合、指定した日付範囲中に部下のユーザのうち、ユーザによるコール数が上位のリストがレポートに表示されます。CAR 管理者の場合、システム上の各ユーザのコール数のうち、コール数が上位のリストが表示されます。各上位 N 件のコール数レポートは、個別ユーザまたは内線番号ごとの情報を示すオプション付きで生成できます。

料金別上位 N 件レポートの生成

この項では、コストで分類した場合の上位コールに関するレポートを生成する方法、参照する方法、または、メール送信する方法について説明します。

手順

ステップ 1 次のいずれかの作業を実行します。

- a) マネージャの場合は、[上位 N 件 (Top N)] > [料金別 (By Charge)] を選択します。
- b) CAR 管理者の場合は、[ユーザーレポート (User Reports)] > [上位 N 件 (Top N)] > [料金別 (By Charge)] を選択します。

ステップ 2 [コールタイプの選択 (Select Call Types)] 領域で、レポートに含めるコールタイプのチェックボックスをオンにします。これらのチェックボックスは、次の表で説明されているように、[使用可能なレポート (Available Reports)] ドロップダウンリストボックスから [新規レポート

の作成 (Generate New Report)] を選択した場合にのみ表示されます。次の表にコールタイプを示します。

ヒント すべてのチェックボックスをオンにするには [すべて選択 (Select All)] をクリックし、チェックボックスをオフにするには [すべてクリア (Clear All)] をクリックします。

表 1: 課金情報による上位 N コールタイプ

コールタイプ	説明
オン ネット (On Net)	1つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オンネット (OnNet)] コールに分類される可能性があります。 ダイアルプランの設定 を参照してください。
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリアコードがないか、またはローカルエリアコードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。
タンデム (Tandem)	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届き、Unified Communications Manager ネットワークからゲートウェイ経由で外部に転送される着信コール。
その他 (Others)	フリーダイアル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。

ステップ 3 [レポートタイプ (Report Type)] フィールドで、次の表で説明されているレポートタイプを選択します。

表 2: 課金情報による上位 N レポート タイプ

レポートタイプ	説明
ユーザ別 (By Individual Users)	このレポートには、発生した料金が最大のユーザのリストが表示されます。
接続先別 (By Destinations)	このレポートには、発生した料金が最大の接続先のリストが表示されます。
すべてのコール (By All Calls)	このデフォルトレポートでは、発生した課金が最大のコールのリストが表示されます。

(注) 課金情報による上位 N 宛先レポートでは、発生した課金に基づいて、上位の宛先が表示されます。同じ宛先番号が異なるコール分類 (たとえば、一部が [内部 (Internal)]、一部が [着信 (Incoming)]) に含まれている場合、これらのレポートでは、これらの番号は別々に処理されて、リストに表示されます。

ステップ 4 *使用可能なレポート (Available Reports)] フィールドで、自動生成レポート (選択可能な場合) を選択してテーブルに進むか、またはデフォルト設定の [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を使用し、テーブルに進みます。

(注) 自動生成レポートは、CAR 管理者としてログインしている場合のみ選択できます。マネージャとしてログインしている場合、自動生成レポートは、ドロップダウンリストボックスに表示されません。

ステップ 5 [レコード件数 (No of Records)] フィールドに、レポートに表示するレコード数 (n) を入力します。デフォルトでは 5 に設定されます。

ステップ 6 レポートを生成する期間の日付範囲を選択します。

ステップ 7 レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

ステップ 8 [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。

ステップ 9 [レポートの送信] をクリックします。レポートを送信するには、[メールレポート \(3 ページ\)](#) で説明されている手順を実行します。

接続時間別上位 N 件レポートの生成

この項では、接続時間で分類した場合の上位コールに関するレポートを生成する方法、参照する方法、または、メール送信する方法について説明します。

手順

ステップ 1 次のいずれかの作業を実行します。

- a) マネージャの場合は、[上位 N 件 (Top N)] > [接続時間別 (By Duration)] を選択します。
- b) CAR 管理者の場合は、[ユーザレポート (User Reports)] > [上位 N 件 (Top N)] > [接続時間別 (By Duration)] を選択します。

ステップ 2 [コールタイプの選択 (Select Call Types)] 領域で、レポートに含めるコールタイプのチェックボックスをオンにします。これらのチェックボックスは、次の表で説明されているように、[使用可能なレポート (Available Reports)] ドロップダウンリストボックスから [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を選択した場合にのみ表示されます。次の表にコールタイプを示します。

表 3: 接続時間別上位 N 件のコールタイプ

コールタイプ	説明
オンネット (OnNet)	1つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オンネット (OnNet)] コールに分類される可能性があります。ダイアルプランの設定を参照してください。
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリアコードがないか、またはローカルエリアコードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。
タンデム (Tandem)	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届き、その後 Unified Communications Manager ネットワークからゲートウェイ経由で外部に転送される着信コール。
その他 (Others)	フリーダイヤル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。

ステップ3 [レポートタイプ (Report Type)] フィールドで、次の表で説明されているレポートタイプを選択します。

表 4: 接続時間別上位 N 件のレポートタイプ

レポートタイプ	説明
ユーザ別 (By Individual Users)	このレポートには、発生した接続時間が最大のユーザのリストが表示されます。
接続先別 (By Destinations)	このレポートには、発生した接続時間が最大の接続先のリストが表示されます。
すべてのコール (By All Calls)	このレポートには、発生した接続時間が最大のコールのリストが表示されます。

(注) 接続時間による上位N宛先レポートでは、コールの接続時間に基づいて、上位の宛先が表示されます。同じ宛先番号が異なるコール分類 (たとえば、一部が[内部 (Internal)]、一部が[着信 (Incoming)]) に含まれている場合、これらのレポートでは、これらの番号は別々に処理されて、リストに表示されます。

ステップ4 [使用可能なレポート (Available Reports)] フィールドで、自動生成レポート (選択可能な場合) を選択してテーブルに進むか、またはデフォルト設定の [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を使用し、テーブルに進みます。

(注) 自動生成レポートは、CAR 管理者としてログインしている場合のみ選択できます。マネージャとしてログインしている場合、自動生成レポートは、ドロップダウンリストボックスに表示されません。

ステップ5 [レコード件数 (No of Records)] フィールドに、レポートに表示するレコード数 (n) を入力します。デフォルトでは 5 に設定されます。

ステップ6 レポートを生成する期間の日付範囲を選択します。

ステップ7 レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

ステップ8 [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。

ステップ9 レポートボタンを電子メールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メールレポート \(3 ページ\)](#) で説明されている手順を実行します。

コール数別上位 N 件レポートの生成

この項では、数量で分類した場合の上位コールに関するレポートを生成する方法、参照する方法、または、メール送信する方法について説明します。

手順

ステップ 1 次のいずれかの作業を実行します。

- a) マネージャの場合は、[上位 N 件 (Top N)] > [コール数別 (By Number of Calls)] を選択します。
- b) CAR 管理者の場合は、[ユーザレポート (User Reports)] > [上位 N 件 (Top N)] > [コール数別 (By Number of Calls)] を選択します。

ステップ 2 [コールタイプの選択 (Select Call Types)] 領域で、レポートに含めるコールタイプのチェックボックスをオンにします。これらのチェックボックスは、次の表で説明されているように、[使用可能なレポート (Available Reports)] ドロップダウンリストボックスから [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を選択した場合にのみ表示されます。次の表にコールタイプを示します。

表 5: コール数別上位 N 件のコールタイプ

コールタイプ	説明
オンネット (OnNet)	1つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オンネット (OnNet)] コールに分類される可能性があります。ダイアルプランの設定を参照してください。
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリアコードがないか、またはローカルエリアコードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。

コールタイプ	説明
タンデム (Tandem)	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届き、Unified Communications Manager ネットワークからゲートウェイ経由で外部に転送される着信コール。
その他 (Others)	フリーダイヤル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。

ステップ 3 [レポートタイプ (Report Type)] フィールドで、次の表で説明されているレポートタイプを選択します。

表 6: コール数別上位 N 件のレポートタイプ

レポートタイプ	説明
ユーザ別 (By Individual Users)	このレポートには、発生したコール数が最大のユーザのリストが表示されます。
内線番号別 (By Extensions)	このレポートでは、グループ (マネージャ用) またはシステム (CAR 管理者用) で、実行または受信したコール数が最大の内線番号のリストが表示されます。

ステップ 4 [使用可能なレポート (Available Reports)] フィールドで、自動生成レポート (選択可能な場合) を選択してテーブルに進むか、またはデフォルトの [新規レポートの作成 (Generate New Report)] を使用し、テーブルに進みます。

(注) 自動生成レポートは、CAR 管理者としてログインしている場合のみ選択できます。マネージャとしてログインしている場合、自動生成レポートは、ドロップダウンリストボックスに表示されません。

ステップ 5 [レコード件数 (No of Records)] フィールドに、レポートに表示するレコード数 (n) を入力します。デフォルトでは 5 に設定されます。

ステップ 6 レポートを生成する期間の日付範囲を選択します。

ステップ 7 レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

ステップ 8 [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。

ステップ 9 レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メールレポート \(3 ページ\)](#) で説明されている手順を実行します。

アシスタントユーザレポート

CAR では、次の 3 レベルのユーザ向けにレポート機能が用意されています。

- 管理者：ロードバランシング、システムパフォーマンス、トラブルシューティングの参考にできるシステムレポートを生成します。
- マネージャ：予算編成またはセキュリティを目的とする場合や、コールの音声品質を判断する場合のコールモニタリングに役立つユーザ、部門、および QoS に関するレポートを生成します。
- 個々のユーザ：コールの課金レポートを生成します。



(注) 職務機能に応じて、一部のレポートを表示するのにアクセス制限がある場合があります。

アシスタント使用状況レポート

CAR では、マネージャ、およびマネージャのコールを管理するように設定または割り当てられたアシスタントである、Cisco Unified Communications Manager Assistant ユーザのために、コール完了使用状況レポートが提供されています。CAR 管理者だけが、Cisco Unified Communications Manager Assistant レポートを生成できます。[Cisco Unified Communications Manager Assistant] メニューを使用すると、姓または名の一部または全体に基づいた簡単な検索機能を使用して、マネージャまたはアシスタントのすべてまたはサブセットを選択できます。これらのレポートは、必要に応じて、PDF 形式または CSV 形式のいずれかで生成し、電子メールで送信できます。さらに、時刻範囲を選択し、詳細レベルレポートまたは要約レベルレポートを生成することもできます。

マネージャレポートには、マネージャが自身のために処理するコールのみ、アシスタントがマネージャのために処理するコールのみ、およびいずれかのケースに分類されるコールを含めることができます。マネージャの要約レポートには、マネージャおよびアシスタントごとに、各コール分類タイプのコール数、コールの合計数、およびすべてのコールの合計接続時間（秒単位）が表示されます。マネージャの詳細レポートには、マネージャおよびアシスタントごとに、各コールの日付、発信時刻、発信元（発信者番号）、接続先（着信者番号）、コールの分類、接続時間（秒単位）、およびマネージャの累積接続時間の合計が表示されます。

アシスタントレポートには、アシスタントが自身のために処理するコールのみ、アシスタントがマネージャのために処理するコールのみ、およびいずれかのケースに分類されるコールを含めることができます。アシスタントの要約レポートには、マネージャ（およびアシスタント）ごとに、接続時間以外に、各タイプのコールの数および合計数が表示されます。アシスタントの詳細レポートには、すべてのマネージャ（アシスタント）のコールごとに、日付、発信時刻、発信元（発信者番号）、接続先（着信者番号）、コールの分類、接続時間（秒単位）、およびアシスタントの累積接続時間の合計が表示されます。

ここでは、次の手順について説明します。

- マネージャ コールの使用状況レポートの生成
- アシスタント コールの使用状況レポートの生成

マネージャ コールの使用状況レポートの生成

この項では、Cisco Unified Communications Manager Assistant のマネージャ コールの使用状況レポートを生成する方法について説明します。CAR 管理者だけが、Cisco Unified Communications Manager Assistant レポートを生成できます。

手順

- ステップ 1** [ユーザーレポート (User Reports)] > [Cisco Unified Communications Manager Assistant] > [マネージャ コールの使用状況 (Manager Call Usage)] を選択します。
[マネージャのコール使用状況 (Call Usage for Manager)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [レポート タイプ (Report Type)] ドロップダウンリストから、[要約 (Summary)] または [詳細 (Detail)] を選択します。
- ステップ 3** [次のユーザによって処理されたコール数 (Calls handled by)] ドロップダウンリストから、[マネージャ (Manager)]、[マネージャ代理アシスタント (Assistant for Manager)]、または [マネージャおよびマネージャ代理アシスタント (Manager & Assistant for Manager)] を選択します。
- ステップ 4** コール情報を確認する期間の日付範囲を選択します。
- ステップ 5** [マネージャの選択 (Select Manager(s))] ボックスで、[すべてのマネージャを選択 (Select All Manager(s))] チェックボックスをオンにしてマネージャ ID を入力するか、または [マネージャの選択 (Select Manager(s))] リンクをクリックしてマネージャ ID を検索し、[マネージャ ID (Manager Id)] フィールドに ID を入力します。
- ステップ 6** [追加 (Add)] をクリックします。
選択した ID が [選択されたマネージャ (Selected Manager(s))] ボックスに表示されます。
- ステップ 7** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 8** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート \(3 ページ\)](#) で説明されている手順を実行します。
(注) [選択されたマネージャ (Selected Manager(s))] リストからマネージャを削除する場合は、ID を選択し、[削除 (Remove)] をクリックします。リストからすべてのマネージャを削除する場合は、[すべて削除 (Remove All)] をクリックします。

アシスタント コールの使用状況レポートの生成

この項では、Cisco Unified Communications Manager Assistant のアシスタント コールの使用状況レポートを生成する方法について説明します。CAR 管理者だけが、これらのレポートを生成できます。

手順

-
- ステップ 1** [ユーザー レポート (User Reports)] > [Cisco Unified Communications Manager Assistant] > [アシスタント コールの使用状況 (Assistant Call Usage)] を選択します。
- [アシスタントのコール使用状況 (Call Usage for Assistant)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2** [レポート タイプ (Report Type)] ドロップダウン リストから、[要約 (Summary)] または [詳細 (Detail)] を選択します。
- ステップ 3** [次のユーザによって処理されたコール数 (Calls handled by)] ドロップダウンリストから、[アシスタント (Assistant)]、[マネージャ代理アシスタント (Assistant for Manager)]、または [アシスタントおよびマネージャ代理アシスタント (Assistant & Assistant for Manager)] を選択します。
- ステップ 4** コール情報を確認する期間の日付範囲を選択します。
- ステップ 5** [アシスタントの選択 (Select Assistant(s))] ボックスで、[すべてのアシスタントを選択 (Select All Assistant(s))] チェックボックスをオンにしてアシスタント ID を入力するか、[アシスタントの選択 (Select Assistant(s))] リンクをクリックしてアシスタント ID を検索し、[アシスタント ID (Assistant Id)] フィールドに ID を入力します。
- ステップ 6** [追加 (Add)] をクリックします。
- 選択した ID が [選択されたアシスタント (Selected Assistant(s))] ボックスに表示されます。
- ステップ 7** レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。
- ステップ 8** [レポートの表示 (View Report)] をクリックします。
- ステップ 9** レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メール レポート \(3 ページ\)](#) で説明されている手順を実行します。
- (注) [選択されたアシスタント (Selected Assistant(s))] リストからマネージャを削除する場合は、ID を選択し、[削除 (Remove)] をクリックします。リストからすべてのアシスタントを削除する場合は、[すべて削除 (Remove All)] をクリックします。
- ステップ 10** すべてのユーザを追加したら、[ユーザ検索 (User Search)] ウィンドウで [閉じる (Close)] をクリックします。
-

IP Phone サービスのユーザレポート

CAR では、次の 3 レベルのユーザ向けにレポート機能が用意されています。

- 管理者：ロード バランシング、システム パフォーマンス、トラブルシューティングの参考にできるシステム レポートを生成します。
- マネージャ：予算編成またはセキュリティを目的とする場合や、コールの音声品質を判断する場合のコール モニタリングに役立つユーザ、部門、および QoS に関するレポートを生成します。
- 個々のユーザ：コールの課金レポートを生成します。



(注) 職務機能に応じて、一部のレポートを表示するのにアクセス制限がある場合があります。

IP Phone サービス レポートの生成

Cisco IP 電話サービス レポートを生成できるのは、CAR 管理者のみです。選択した Cisco IP 電話サービス、選択した各サービスに加入しているユーザの数、および選択した各サービスへの加入率を示すレポートを生成できます。

次の手順を使用して、次に示す Cisco Unified IP Phone サービスのいずれかの使用状況を示すレポートを生成します。

- 不在履歴
- 着信履歴
- 発信履歴
- インターコム コール
- 個人ディレクトリ
- 社内ディレクトリ
- エクステンション モビリティ

手順

ステップ 1 [ユーザレポート (User Reports)] > [Cisco IP 電話 (Cisco IP Phone)] を選択します。

[Cisco IP 電話 (Cisco IP Phone)] ウィンドウに、システムで設定されているすべての Cisco Unified IP Phone サービスのリストが表示されます。

ステップ 2 [Cisco IP 電話 (Cisco IP Phone)] 領域のリストで、レポートに含めるサービスを選択します。

ステップ3 右矢印をクリックして、選択したサービスを [選択した Cisco IP 電話 (Selected IP Phone)] ボックスに追加します。

レポートには、生成時にこのボックス内に表示されたすべてのサービスが含まれます。

ステップ4 レポートを CSV 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [CSV] を選択します。レポートを PDF 形式にするには、[レポート形式 (Report Format)] 領域で [PDF] を選択します。

ステップ5 レポートをメールで送信する場合は、[レポートの送信 (Send Report)] をクリックします。レポートを送信するには、[メールレポート \(3 ページ\)](#) で説明されている手順を実行します。

ユーザレポート出力結果の確認

この章では、各 CAR ユーザレポートの出力情報について説明します。

課金要約レポートの結果

レポートでは、ユーザ名による昇順でグループの情報が組み合わされます。要約レポートには、次のフィールドが含まれます (次の表を参照)。

表 7: 要約レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
[コールの分類 (Call Classification)] : コール カテゴリでクラスを指定します。	
オンネット (OnNet)	1つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オンネット (OnNet)] コールに分類される可能性があります。 ダイアルプランの設定 を参照してください。
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリアコードがないか、またはローカルエリアコードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。

フィールド	説明 (Description)
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
その他 (Others)	フリーダイヤル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。
QoS	<p>各 QoS カテゴリのコールの数。CAR 管理者が設定したパラメータにより、次の QoS カテゴリの基礎情報が示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Good] : これらのコールの QoS は、最大限の品質を示します。 • [Acceptable] : これらのコールの QoS は少し劣化していますが、依然、受け入れ可能な範囲内であることを示します。 • [Fair] : これらのコールの QoS は劣化していますが、依然、使用可能な範囲内です。 • [Poor] : これらのコールの QoS は、不十分として分類されます。 • [NA] : これらのコールは、確立されているどの QoS カテゴリの基準にも合致しません。 <p>QoS 値の定義およびゲートウェイ別 QoS レポートの生成を参照してください。</p>
コール (Calls)	各コール分類のコール数を示します。
料金 (Charge)	各コールに関連付けられている料金を示します。CAR 管理者が CAR 評価エンジンに対して提供するコール料金情報により、料金の基礎情報が示されます。 CAR 評価エンジン を参照してください。

次の図は、個人用課金の要約レポートおよび部門課金の要約レポートの出力例です。

図 1: 個人用課金情報レポートの出力例

Individual Bill - Summary

From Date: Jan 1, 2008 Date: Jan 26, 2008
 To Date: Jan 26, 2008 Page: 1 of 1

Quality of Service							
Call Classification	Good	Acceptable	Fair	Poor	NA	Calls	Charge
Bill for caradmin							
Total for caradmin	0	0	0	0	0	0	0.00

280505

図 2: 部門用課金情報レポートの出力例

Quality of Service							
Call Classification	Good	Acceptable	Fair	Poor	NA	Calls	Charge
Bill for user1							
Internal	0	0	0	0	4	4	120.00
Total for user1	0	0	0	0	4	4	120.00
Bill for user3							
Internal	0	0	0	0	4	4	120.00
Total for user3	0	0	0	0	4	4	120.00
Bill for _unspecifieduser							
Internal	3	0	0	0	12	15	1,700.00
On Net	0	0	0	0	1	1	100.00
Others	1	0	0	0	0	1	120.00
Total for _unspecifieduser	4	0	0	0	13	17	1,920.00
Bill for user4							
Internal	0	0	0	0	4	4	120.00
Total for user4	0	0	0	0	4	4	120.00
Bill for user2							
Internal	0	0	0	0	4	4	120.00
Total for user2	0	0	0	0	4	4	120.00
Bill for caradmin							
Total for caradmin	0	0	0	0	0	0	0.00

280504

課金詳細レポートの結果

レポートでは、ユーザ名による昇順でグループの情報が示されます。詳細レポートには、次のフィールドが含まれます（次の表を参照）。

表 8: 詳細レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
日付	コールが発信された日付。
発信時刻 (Orig. Time)	コールが発信された時刻。
発信 (Orig.)	コールが発信された発信元番号。

フィールド	説明 (Description)
着信 (Dest.)	コールの発信先である接続先番号。
[コールの分類 (Call Classification)]: コール カテゴリでクラスを指定します。	
オンネット (OnNet)	1つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オンネット (OnNet)] コールに分類される可能性があります。 ダイアルプランの設定 を参照してください。
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリア コードがないか、またはローカル エリア コードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
その他 (Others)	フリーダイヤル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。
QoS	<p>各 QoS カテゴリのコールの数。CAR 管理者が設定したパラメータにより、次の QoS カテゴリの基礎情報が示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [Good] : これらのコールの QoS は、最大限の品質を示します。 • [Acceptable] : これらのコールの QoS は少し劣化していますが、依然、受け入れ可能な範囲内であることを示します。 • [Fair] : これらのコールの QoS は劣化していますが、依然、使用可能な範囲内です。 • [Poor] : これらのコールの QoS は、不十分として分類されます。 • [NA] : これらのコールは、確立されているどの QoS カテゴリの基準にも合致しません。 <p>QoS 値の定義およびゲートウェイ別 QoS レポートの生成を参照してください。</p>

フィールド	説明 (Description)
接続時間 (秒) (Duration(s))	コールが接続されていた時間の長さ (秒単位)。
料金 (Charge)	各コールに関連付けられている料金。CAR 管理者が CAR 評価エンジンに対して提供するコール課金情報により、課金の基礎情報が示されます。 QoS 値の定義 を参照してください。

次の図は、個人用課金の詳細レポートおよび部門課金の詳細レポートの出力例です。

図 3: 個人用課金情報詳細レポート

cisco
Individual Bill - Detail

From Date: Feb 1, 2008
To Date: Feb 10, 2008

Date: Feb 10, 2008
Page: 1 of 1

Date	Orig. Time	Orig.	Dest.	Call Classification	QoS	Duration (sec)	Charge
Bill for CARuser1							
Feb 8, 2007	3:25:22 PM	1001	1003	Internal	Good	10	192.00
Feb 8, 2007	3:25:50 PM	1001	1003	Internal	Good	6	96.00
Feb 8, 2007	3:25:58 PM	1001	1003	Internal	Good	7	192.00
Feb 8, 2007	3:26:09 PM	1001	1003	Internal	Good	14	288.00
Total for CARuser1						37	768.00

210716

図 4: 部門用課金情報詳細レポート

cisco
Department Bill - Detail

From Date: Feb 1, 2008
To Date: Feb 10, 2008

Date: Feb 10, 2008
Page: 1 of 6

Date	Orig. Time	Orig.	Dest.	Call Classification	QoS	Duration (sec)	Charge
Bill for CARuser1							
Feb 8, 2007	3:25:22 PM	1001	1003	Internal	Good	10	192.00
Feb 8, 2007	3:25:50 PM	1001	1003	Internal	Good	6	96.00
Feb 8, 2007	3:25:58 PM	1001	1003	Internal	Good	7	192.00
Feb 8, 2007	3:26:09 PM	1001	1003	Internal	Good	14	288.00
Total for CARuser1						37	768.00
Bill for CARuser2							
Feb 1, 2007	3:23:16 PM	1002	1003	Others	Good	167	2,688.00
Feb 1, 2007	3:29:16 PM	1002	1006	Others	Good	55	960.00
Feb 1, 2007	3:30:48 PM	1002	1001	Others	Good	37	672.00
Feb 1, 2007	3:36:58 PM	1002	1003	Others	Good	81	1,344.00

210718

料金別または接続時間別上位 N 件レポートの結果

料金別上位 N 件および接続時間別上位 N 件の各フィールドは、レポートタイプによって異なります。レポートには、発信コールだけが表示されます。表を参照してください。

表 9: 料金別または接続時間別上位 N 件のフィールド

フィールド	説明 (Description)
ユーザ別 (By Individual Users)	
ユーザ (User)	ユーザの名前。
コール (Calls)	コールの総数。
接続時間 (秒) (Duration(s))	コールが接続されていた時間の長さ (秒単位)。
料金 (Charge)	各コールに関連付けられている料金。CAR 管理者が CAR 評価エンジンに対して提供するコール料金情報により、料金の基礎情報が示されます。QoS 値の定義を参照してください。
接続先別 (By Destinations)	

フィールド	説明 (Description)
着信 (Dest)	コールの接続先。
コールの分類 (Call Classification)	各コール分類の合計コール数。
コール (Calls)	コールの総数。
時間 (Duration)	コールが接続されていた時間の長さ (秒単位)。
料金 (Charge)	各コールに関連付けられている料金。CAR 管理者が CAR 評価エンジンに対して提供するコール料金情報により、料金の基礎情報が示されます。CAR 評価エンジンを参照してください。
コール数別 (By Number of Calls)	
ユーザ (User)	ユーザの名前。
日付 (Date)	コールが発生した日付。
発信時刻 (Orig Time)	コールが発信された時刻。
発信 (Orig)	コールの発信元。
着信 (Dest)	コールの着信先。
コールの分類 (Call Classification)	各コール分類の合計コール数。
時間 (Duration)	コールが接続されていた時間の長さ (秒単位)。
料金 (Charge)	各コールに関連付けられている料金。CAR 管理者が CAR 評価エンジンに対して提供するコール料金情報により、料金の基礎情報が示されます。CAR 評価エンジンを参照してください。

図 5: 接続先別上位 N 件の料金レポート例 (29 ページ) および図 6: 接続先別上位 N 件の接続時間レポート例 (29 ページ) は、レポートの例です。

図 5: 接続先別上位 N 件の料金レポート例

cisco
Top 5 Destinations based on Charge

From Date: Feb 1, 2008
To Date: Feb 10, 2008

Date: Feb 10, 2008
Page: 1 of 1

Report Generation Criteria-
Call Classification: On Net, Internal, Local, Long Distance, International, Incoming, Tandem, Others

Dest.	Call Classification	Calls	Duration (sec)	Charge
666	Internal	2	43213	172,872.00
1005	Incoming	12	2695	40,464.00
1004	Incoming	8	2527	38,808.00
1006	Incoming	12	2689	36,096.00
11006	On Net	6	2204	35,520.00

210721

図 6: 接続先別上位 N 件の接続時間レポート例

cisco
Top 5 Destinations based on Duration

From Date: Feb 1, 2008
To Date: Feb 10, 2008

Date: Feb 10, 2008
Page: 1 of 1

Report Generation Criteria-
Call Classification: On Net, Internal, Local, Long Distance, International, Incoming, Tandem, Others

Dest.	Call Classification	Calls	Charge	Duration (sec)
666	Internal	2	172,872.00	43213
1005	Incoming	12	40,464.00	2695
1006	Incoming	12	36,096.00	2689
1004	Incoming	8	38,808.00	2527
11006	On Net	6	35,520.00	2204

210724

コール数別上位 N 件レポートの結果

コール数別上位 N 件レポートのフィールドは、レポートタイプによって異なります。レポートには、着信コールと発信コールの両方が示されます。表を参照してください。

表 10: コール数別上位 N 件レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
ユーザ別 (By Individual Users)	
ユーザ (Users)	ユーザの名前。

フィールド	説明 (Description)
料金 (Charge)	そのユーザへのすべてのコールの合計課金額。 CAR 管理者が CAR 評価エンジンに対して提供するコール料金情報により、料金の基礎情報が示されます。 CAR 評価エンジン を参照してください。
接続時間 (秒) (Duration(s))	コールが接続されていた時間の長さ (秒単位)。
発信コール (Calls Made)	ユーザが発信したコールの合計数。
着信コール (Calls Received)	ユーザが受信したコールの合計数。
コールの総数 (Total Calls)	着信コールおよび発信コールの合計数。
内線番号別 (By Extensions)	
内線番号 (Extension No)	コールを発信および受信した内線番号。
料金 (Charge)	そのユーザへのすべてのコールの合計課金額。 CAR 管理者が CAR 評価エンジンに対して提供するコール料金情報により、料金の基礎情報が示されます。 CAR 評価エンジン を参照してください。
時間 (Duration)	コールが接続されていた時間の長さ (秒単位)。
発信コール (Calls Made)	ユーザが発信したコールの合計数。
着信コール (Calls Received)	ユーザが受信したコールの合計数。
コールの総数 (Total Calls)	着信コールおよび発信コールの合計数。

図 7: コール数別上位 N 件レポートの出力例 (30 ページ) に、PDF 形式のユーザ別、コール数別上位 N 件レポートの出力例を示します。

図 7: コール数別上位 N 件レポートの出力例

Top 5 Users based on Number of Calls					
User	Charge	Duration (sec)	Calls Made	Calls Received	Total Calls
user1	120.00	12	4	0	4
user3	120.00	12	4	0	4
user2	120.00	12	4	0	4
user4	120.00	12	4	0	4

Date: Jan 26, 2008
Page: 1 of 1

Report Generation Criteria-
Call Classification: On Net, Internal, Local, Long Distance, International, Incoming, Tandem, Others

280501

アシスタントのコール使用状況詳細レポートの結果

Cisco Unified Communications Manager Assistant がサポートされているレポートには、アシスタントが自身のために処理したコールの数、アシスタントが各マネージャのために処理したコールの数、およびアシスタントが処理したコールの合計数が示されます。レポートには、アシスタントが処理したコールおよびアシスタントがマネージャのために処理したコールについて、グループで情報が示されます。詳細レポートには、次のフィールドが含まれます（次の表を参照）。

表 11: 詳細レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
日付	コールが発信された日付。
発信時刻 (Orig. Time)	コールが発信された時刻。
発信 (Orig.)	コールが発信された発信元番号。
着信 (Dest.)	コールの発信先である接続先番号。
コールの分類 (Call Classification)	コールタイプ (内部、着信、など)。
接続時間 (秒) (Duration (sec))	コールが接続されていた時間の長さ (秒単位)。

図 8: [アシスタントのコール使用状況詳細レポート \(32 ページ\)](#) に、PDF 形式のアシスタントのコール使用状況詳細レポートの出力例を示します。

図 8: アシスタントのコール使用状況詳細レポート

From Date: Mar 1, 2008

To Date: Mar 15, 2008

Report for Calls Handled by Assistant

cisco

Date: Mar 15, 2008

Page: 1 of 2

Call Usage for Assistant - Detail

Date	Orig. Time	Orig.	Dest.	Call Classification	Duration (sec)
Usage for Assistant					
14-3-2007	01:03:11	10001	66	Internal	17
14-3-2007	03:33:31	10001	66	Internal	32
14-3-2007	03:34:07	10001	66	Internal	24
14-3-2007	03:34:35	10001	66	Internal	19
14-3-2007	03:34:57	10001	66	Internal	31
14-3-2007	03:35:32	10001	66	Internal	17
14-3-2007	04:20:03	1234	10001	Internal	49
14-3-2007	04:21:03	1234	10001	Internal	54
14-3-2007	04:22:05	1234	10003	Internal	85
14-3-2007	04:24:41	1234	10001	Internal	36
14-3-2007	04:25:40	66	10001	Internal	45
14-3-2007	04:26:36	66	10001	Internal	42
14-3-2007	04:27:29	66	10001	Internal	27
14-3-2007	04:28:07	66	10003	Internal	44

201404

アシスタントのコール使用状況要約レポートの結果

Cisco Unified Communications Manager Assistant がサポートされているレポートには、アシスタントが自身のために処理したコールの数、およびアシスタントがマネージャのために処理したコールの数に関する情報が示されます。レポートには、グループ別、アテンダント名別にコール情報が示されます。要約レポートには、次のフィールドが含まれます（次の表を参照）。

表 12: 要約レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
アシスタント-内線/マネージャ (Assistant-Extn/Manager)	アシスタントの名前および電話番号が示されます。アシスタントがマネージャのためにコールを処理する場合、マネージャ名も表示されます。
[コールの分類 (Call Classification)] : コール カテゴリでクラスを指定します。	

フィールド	説明 (Description)
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリア コードがないか、またはローカル エリア コードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。
オンネット (On Net)	1つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CARの目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オンネット (On Net)] コールに分類される可能性があります。 ダイアルプランの設定 を参照してください。
その他 (Others)	フリーダイアル番号、911などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。
コール (Calls)	アシスタントが処理したコールの数、またはアシスタントがマネージャのために処理したコールの数。
接続時間 (秒) (Duration (sec))	特定のコール分類のすべてのコールの合計接続時間。

次の図に、PDF 形式のアシスタントのコール使用状況要約レポートの出力例を示します。

図 9: アシスタントのコール使用状況要約レポート

cisco
Call Usage for Assistant - Summary

From Date: Mar 1, 2008
To Date: Mar 15, 2008
Date: Mar 15, 2008
Page: 1 of 1

Report for Calls Handled by Assistant

Assistant-Extn	Call Classification							Calls	Duration (sec)
	Internal	On Net	Local	Long Distance	International	Incoming	Others		
	Usage for Assistant								
Assistant-1234	4	0	0	0	0	0	0	4	224
Assistant-66	5	0	0	0	0	0	0	5	211
Total for Assistant	9	0	0	0	0	0	0	9	435

201405

マネージャのコール使用状況詳細レポートの結果

Cisco Unified Communications Manager Assistant がサポートされているレポートには、マネージャが自身のために処理したコールの数、およびアシスタントがマネージャのために処理したコールの数に関する情報が示されます。レポートには、アシスタント名別にグループで情報が表示され、マネージャが処理したコールの合計数およびアシスタントがマネージャのために処理したコールの合計数が示されます。詳細レポートには、次のフィールドが含まれます（次の表を参照）。

表 13: 詳細レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
日付	コールが発信された日付。
発信時刻 (Orig. Time)	コールが発信された時刻。
発信 (Orig.)	コールが発信された発信元番号。
着信 (Dest.)	コールの発信先である接続先番号。
コールの分類 (Call Classification)	コールタイプ (内部、着信、など)。
接続時間 (秒) (Duration (sec))	コールが接続されていた時間の長さ (秒単位)。

図 10: マネージャのコール使用状況詳細レポート (35 ページ) に、マネージャのコール使用状況詳細レポートからの出力例を示します。

図 10: マネージャのコール使用状況詳細レポート

cisco
Call Usage For Manager - Detail

From Date: Feb 1, 2008
To Date: Feb 10, 2008

Date: Feb 10, 2008
Page: 1 of 4

Report for Calls Handled by Manager

Date	Orig. Time	Orig.	Dest.	Call Classification	Duration (sec)
Usage for CARuser1					
1-2-2007	15:23:10	1001	1004	Others	170
1-2-2007	15:23:13	1001	1004	Incoming	170
1-2-2007	15:26:24	1001	1002	Others	142
1-2-2007	15:26:31	1001	1002	Incoming	142
1-2-2007	15:29:26	1001	1004	Others	41
1-2-2007	15:29:31	1001	1004	Incoming	41
1-2-2007	15:30:48	1002	1001	Others	37
1-2-2007	15:30:50	1002	1001	Incoming	37

210730

マネージャのコール使用状況要約レポートの結果

Cisco Unified Communications Manager Assistant がサポートされているレポートには、マネージャが自身のために処理したコールの数、およびアシスタントがマネージャのために処理したコールの数に関する情報が示されます。レポートには、マネージャ名別にグループで情報が表示され、マネージャごとの処理されたコールの合計数が示されます。レポートには、次のフィールドが含まれます（次の表を参照）。

表 14: 要約レポートのフィールド

フィールド	説明 (Description)
マネージャ - 内線/アシスタント (Manager-Extn/Assistant)	マネージャの名前および電話番号が示されます。アシスタントがマネージャのためにコールを処理する場合、アシスタント名も表示されます。
[コールの分類 (Call Classification)]: コール カテゴリでクラスを指定します。	
内部 (Internal)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、同じ Unified Communications Manager ネットワーク (ゲートウェイやトランクは不使用) で終了する、クラスタ内コールを含むコール。
ローカル (Local)	エリア コードがないか、またはローカル エリア コードのいずれかを含む番号へ公衆電話交換網 (PSTN) を介してルーティングされる市内電話。

フィールド	説明 (Description)
長距離 (Long Distance)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される長距離電話。
国際 (International)	Unified Communications Manager ネットワークから発信され、PSTN 経由で伝送される国際電話。
着信	Unified Communications Manager ネットワーク外から発信され、ゲートウェイ経由で Unified Communications Manager ネットワークに届く着信コール。
オンネット (On Net)	1つの Unified Communications Manager ネットワークから発信され、トランクを経由して、別の Unified Communications Manager ネットワークで終了する発信コール。CAR の目的として、コールが [CAR ダイアルプラン構成 (CAR dial plan configuration)] ウィンドウでそのように構成されていれば、すべての発信コールが [オンネット (OnNet)] コールに分類される可能性があります。ダイアルプランの設定を参照してください。
その他 (Others)	フリーダイヤル番号、911 などの緊急コールなど、その他のすべての発信コール。
コール (Calls)	アシスタントまたはマネージャが処理したコールの合計数。
時間 (Duration)	特定のコール分類のすべてのコールの合計接続時間。

次の図に、PDF 形式のマネージャのコール使用状況要約レポートの出力例を示します。

図 11: マネージャのコール使用状況要約レポート

cisco
Call Usage for Manager - Summary

From Date: Feb 1, 2008
To Date: Feb 10, 2008

Date: Feb 10, 2008
Page: 1 of 1

Report for Calls Handled by Manager

Manager-Extn	Call Classification							Calls	Duration (sec)
	Internal	On Net	Local	Long Distance	International	Incoming	Others		
Usage for CARuser1									
CARuser1-1001	12	4	0	0	0	11	7	34	6695
CARuser1-666	0	0	0	0	0	0	0	0	0
Total for CARuser1	12	4	0	0	0	11	7	34	6695

210729

IP Phone サービスのレポートの結果

Cisco IP Phone サービス レポートには、次のフィールドが含まれます（表を参照）。

表 15: *CiscoUnifiedIPPhone* サービス レポート フィールド

フィールド	説明 (Description)
CiscoIPPhone サービス	選択されたサービスの名前。
登録者数 (Number of Subscribers)	指定されたサービスの加入者の合計数。
加入率 (% Subscription)	すべてのサービスの合計加入者数に対する、指定されたサービスに加入しているユーザの割合 (%)。

図 12 : Cisco IP Phone サービス レポートの出力例 (37 ページ) に、PDF 形式の Cisco IP Phone サービス レポートの出力例を示します。

図 12: *Cisco IP Phone* サービス レポートの出力例

Cisco IP Phone Services

Date: Jan 23, 2008
Page: 1 of 1

Cisco IP Phone Services	Number of Subscribers	% Subscription
Corporate Directory	0	0.00
Intercom Calls	0	0.00
Missed Calls	0	0.00
Personal Directory	0	0.00
Placed Calls	0	0.00
Received Calls	0	0.00

2800481

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。